

表現にかかわる基礎・基本

「描く活動とつくる活動にかかわる基礎的能力」

1 ものの見方・感じ方を深めること（観る力，感じ取る感性）

ものをよく見取る力，気付き発見する力，よさや美しさ，情感，雰囲気などを感じ取る感性

形・色，量感などの特徴をとらえる力

2 主題や発想を創出すること（発想力，イメージを浮かべる力）

豊かな感情や考え，空想や想像力を広げイメージする力

自ら課題を設定していく力

新しいものを考え出す発想力・創造的思考力

3 考えやイメージをまとめて組み立てること（構想力，構成力）

自ら課題解決の方法を考え，組み立てていく力

創造的構想力・構成力

4 形・色・材料で表す感覚や基礎的技能を身に付けること

形や色，材料・用具等にかかわる基礎的な理解と表現技能

造形感覚，美的感覚，材料・用具に対する感覚と創造的に生かす力

5 創意工夫して，よりよく表すこと（まとめ上げの力）

表現の過程で創意工夫し，総合的によりよくまとめ上げる力

6 全過程を通して自己確認すること（自己確認の態度）

発想から完成までの表現の全過程を通して自己確認し，よりよい表現のための工夫や新たな課題を発見したり，自分のよさや学習で得たことなどを発見・確認していくこと

7 作品を通してコミュニケーションや批評をし合い，互いのよさや個性などを理解し合うこと

8 自分の作品に愛着をもち，大切にすること

これらの基礎的能力は，それぞれ独立したものや順序性として身に付けるものではなく，鑑賞ともかかわり一連のものとして総合的に往きつ戻りつしながら身に付けていくものである。